



業界レポート

受託開発ソフトウェア業 (システムインテグレーター)

株式会社CCイノベーション

令和5年6月

目次 -CONTENTS-

01. レポートサマリー
02. 基礎知識
03. 業界の動向
04. 今後の焦点
05. CCIのソリューション

基礎知識

- ITサービスは情報処理サービスとインターネット・Webサービスに大別され、各分野に強みを持つ企業が存在する。
- 開発規模が大きい情報システム開発は大手Sierが受託し、中堅、中小Sierが下請けするピラミッド構造になっている。

業界の動向

- 情報サービス業の市場規模は、DXの浸透によりソフトウェア開発、プログラム作成を中心に増加傾向にある。
- クラウド、AI、ビッグデータ、IoTを中心に技術革新がすすみ、それにともないセキュリティーやプライバシー保護への対応も大きく変化している。
- 労働市場は需要旺盛であり、要件定義フェーズに必要なビジネスの理解やコミュニケーション能力は重要なスキルとなっている。

今後の焦点

- 各業界のビジネスモデルやDXへの取組み状況など、顧客のビジネスを深く理解することが、競合他社との差別化につながる。
- 人材確保・育成には相当の時間的コストが必要であり、人材戦略はSier各社の企業規模や経営方針により異なる。

IT業界の分類

- システム構築
- 運用保守

情報処理サービス



- OS
- アプリケーション

ソフトウェア



- 情報端末
- 周辺機器

ハードウェア



- 通信回線
- 通信施設

通信インフラ



- 検索エンジン
- Webサイト/EC
- 広告

インターネット・Web



- IT戦略企画
- プロジェクトマネジメント

ITコンサルティング



- 商材卸

ディストリビューター



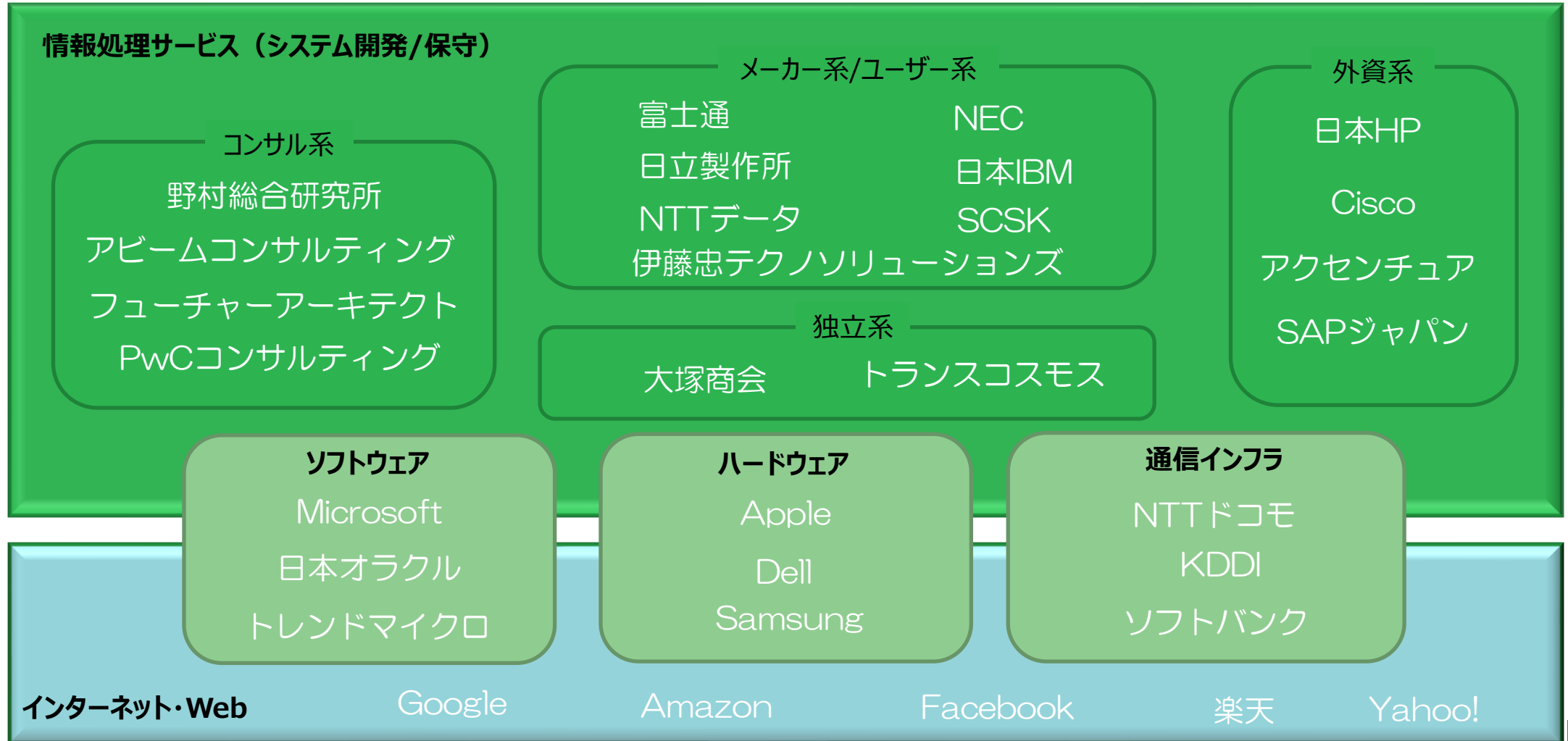
得意分野をもちつつ、複数の分野のサービスを提供する会社が増えていますね



中小SIer勤務のAさん

- ITサービスは情報処理サービスとインターネット・Webサービスに大別され、各分野に強みを持つ企業が存在するが、近年は分野の垣根は低くなっている。

IT業界カオスマップ



●本カオスマップは当社独自に作成しており、サービスの網羅性や正確性を完全に担保するものではありません。

2. 基礎知識

システムインテグレーターのバリューチェーン

コンサルティングや要件定義は開発に大きな影響が出ますので重要です。トレーニングやメンテナンスは手間がかかるのでサービス提供が大変です。

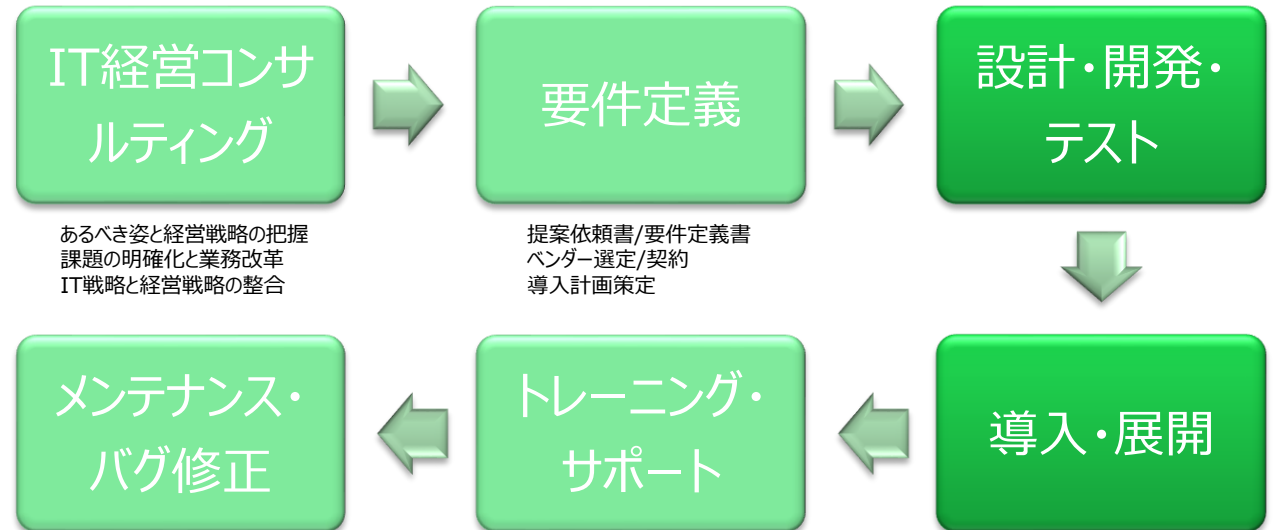


中小SIer勤務のBさん

受託構造ピラミッド



バリューチェーン



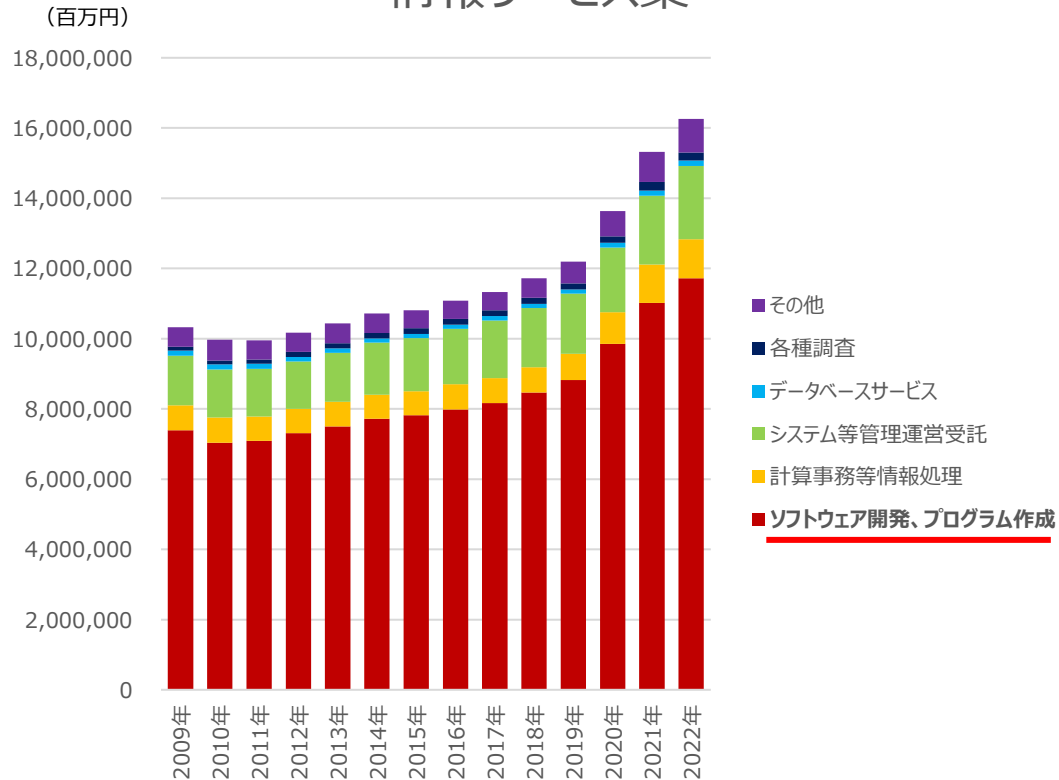
※SIer（エスアイヤー）：システム開発を請け負う企業、システムインテグレーターの通称

- 開発規模が大きい情報システム開発は大手SIerが受託し、中堅、中小SIerが下請けするピラミッド構造になっている。
- SIerの主業務は設計・開発・テスト→導入・展開であり、上流プロセス、下流プロセスは他社と連携する場合がある。

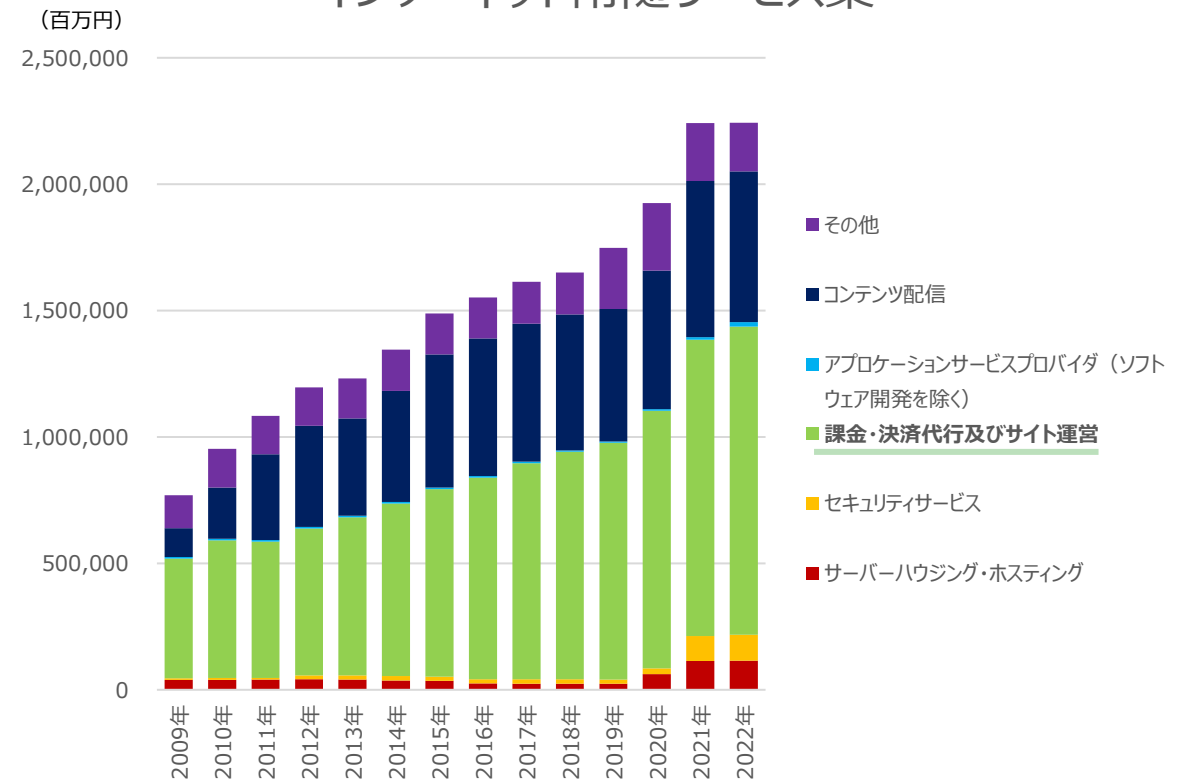
3. 業界の動向

情報サービス業/インターネット附随サービス業の市場規模

情報サービス業



インターネット附随サービス業

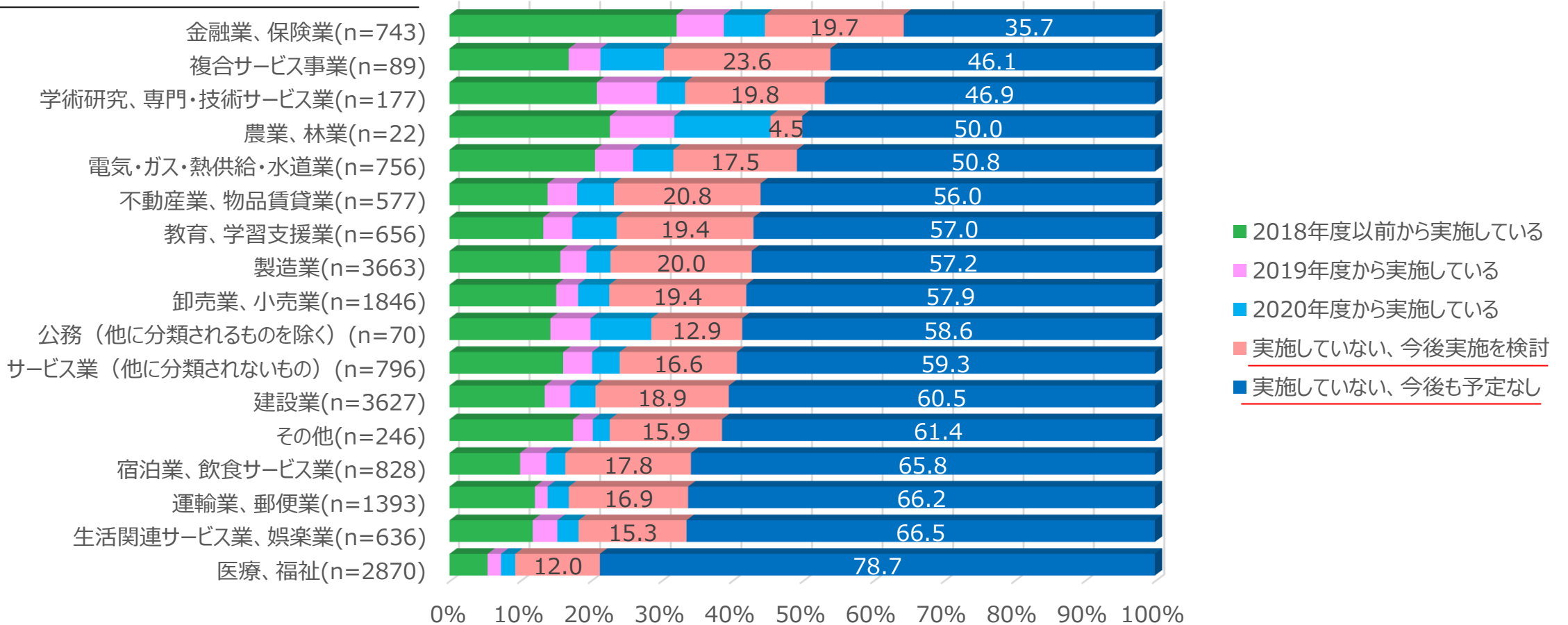


【統計局】特定サービス産業動態統計調査をもとに当社作成

- 情報サービス業の市場規模は、DXの浸透によりソフトウェア開発、プログラム作成を中心に増加傾向にある。

3. 業界の動向

業種別DXの取組み状況



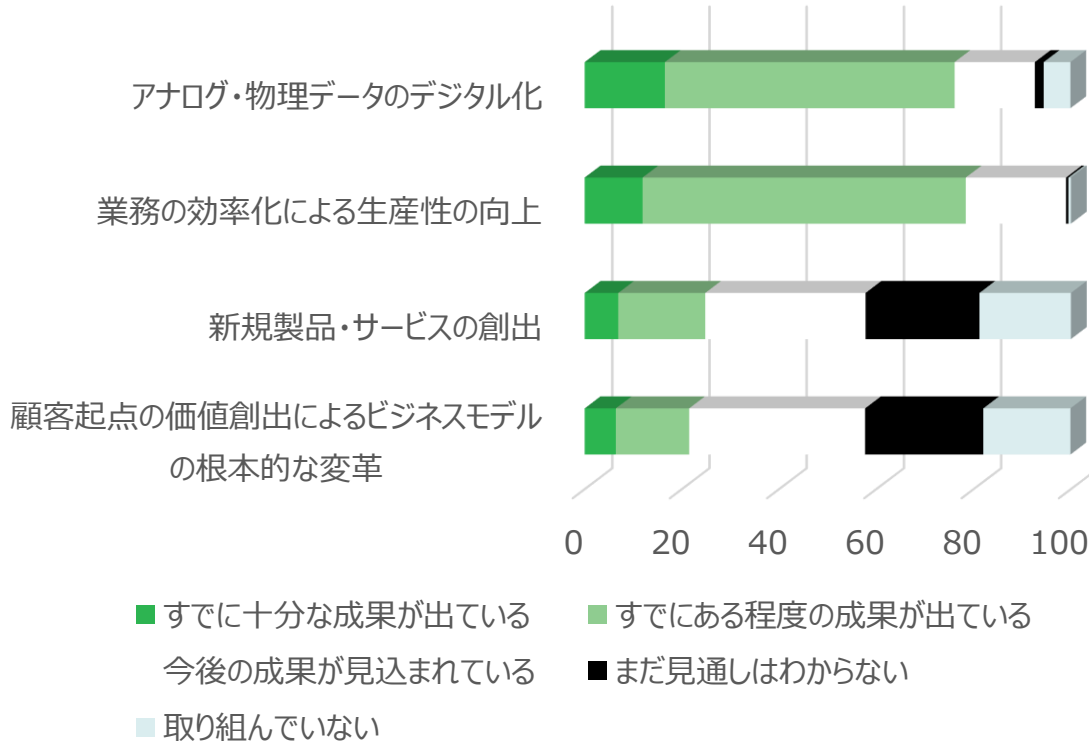
【総務省】令和3年度版情報通信白書をもとに当社作成

- DXの取組みについては、半数以上が取り組む予定がなく、業種特性を背景に業種により大きな差がある。

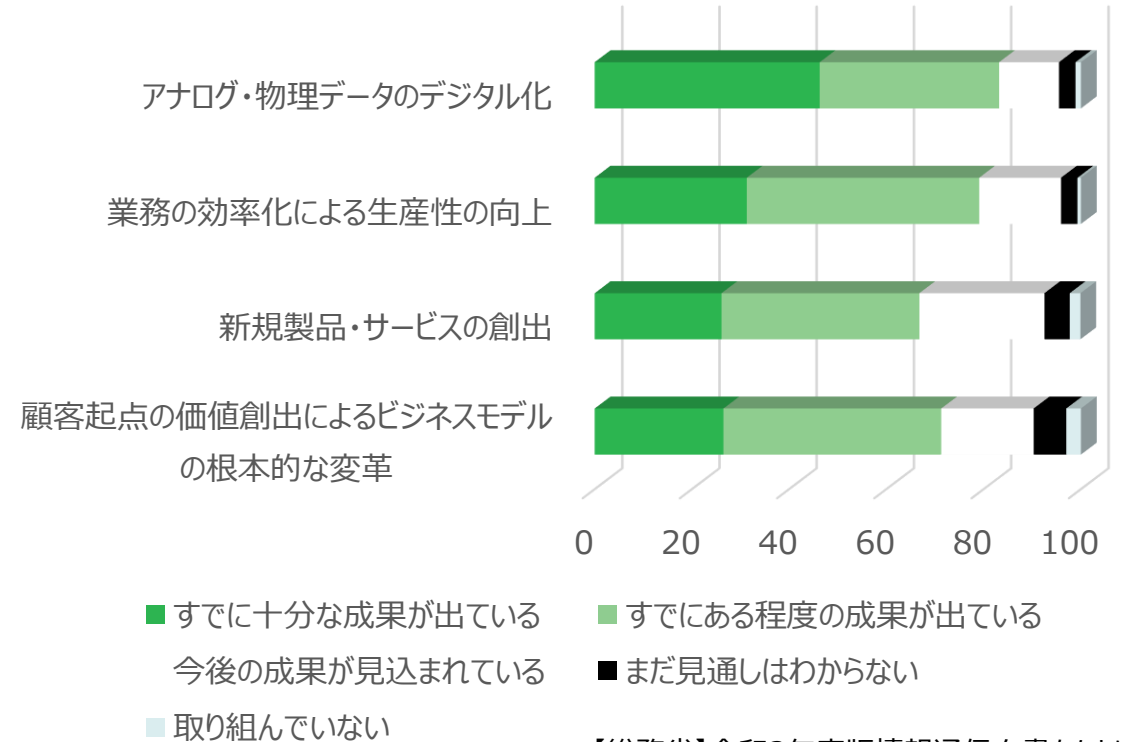
3. 業界の動向

DXの取組内容と成果についての日米比較

日本



アメリカ

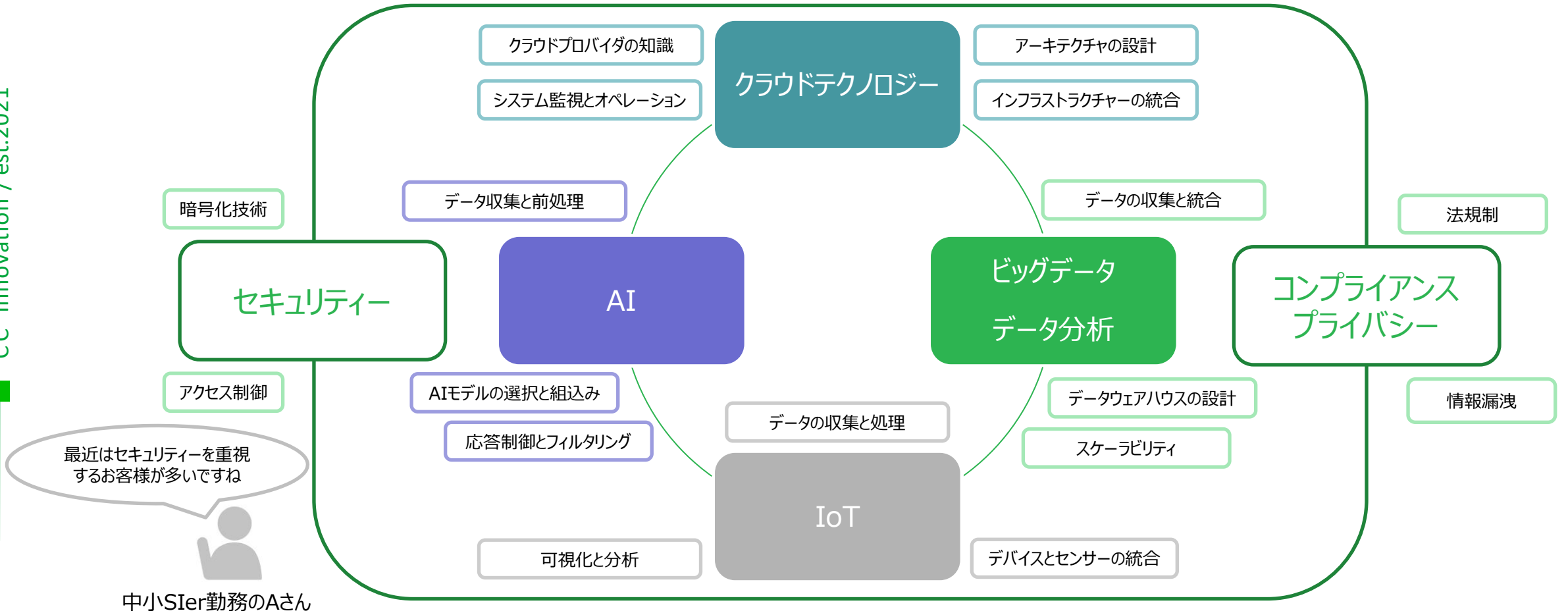


【総務省】令和3年度版情報通信白書をもとに当社作成

- 日米比較では、新たな付加価値の創出について取組みに大きな差がある。

3. 業界の動向

業界が取り組んでいる先進技術



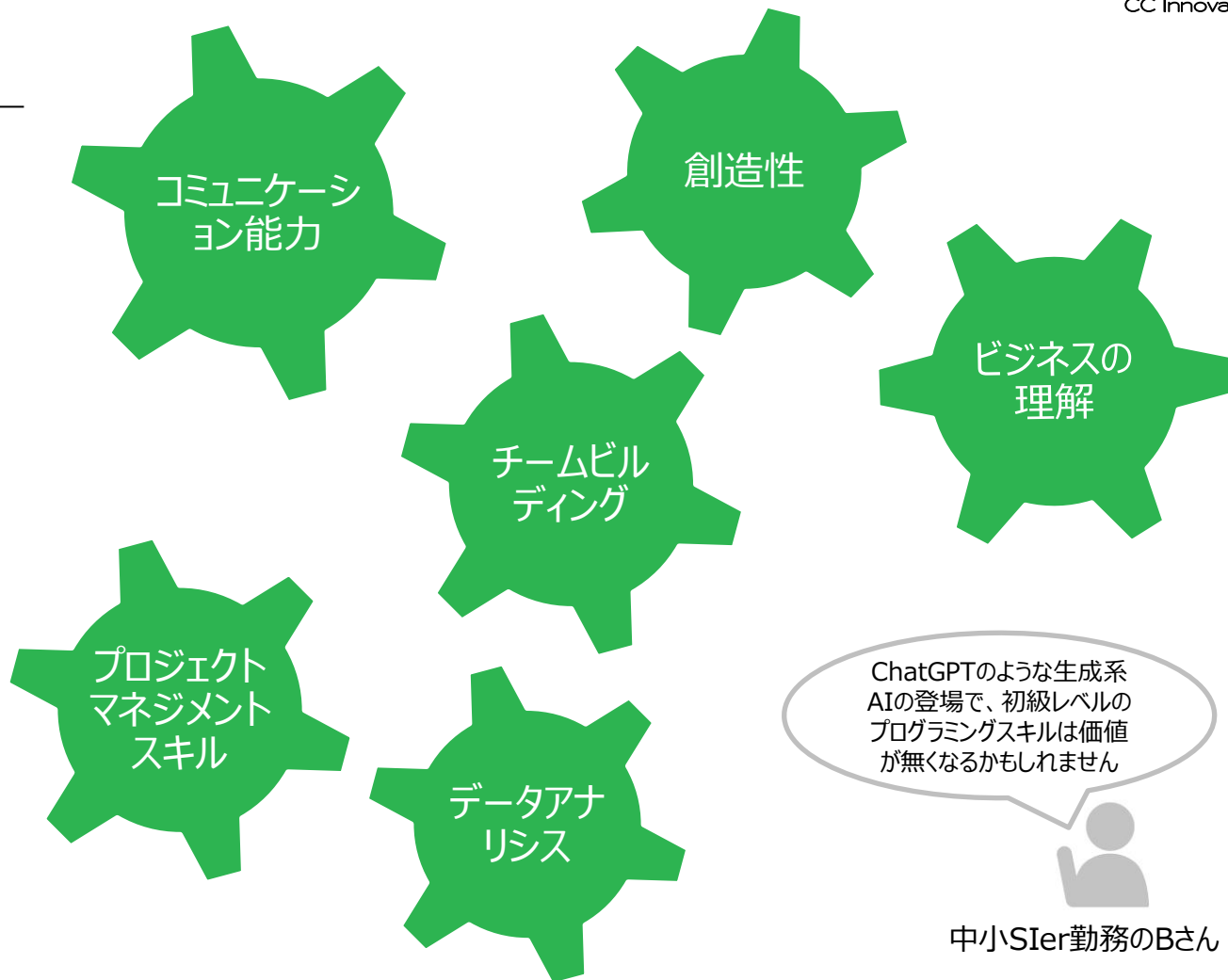
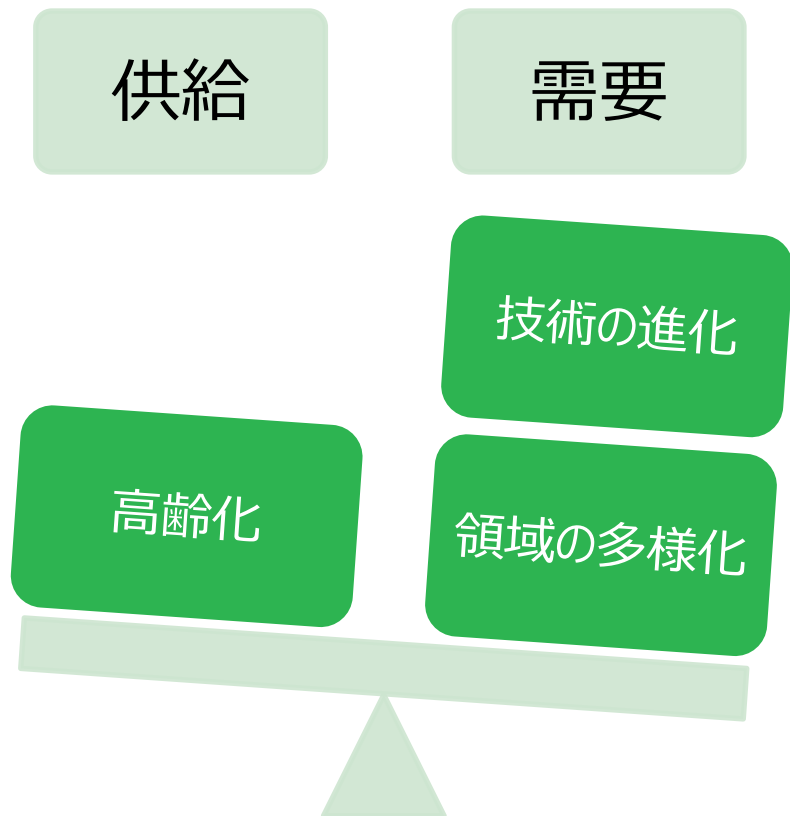
最近ではセキュリティを重視するお客様が多いですね

中小SIer勤務のAさん

- クラウド、AI、ビッグデータ、IoTを中心に技術革新がすすみ、それにともないセキュリティやプライバシー保護への対応も大きく変化している。

3. 業界の動向

人材の需給バランスと求められる人材像



ChatGPTのような生成系AIの登場で、初級レベルのプログラミングスキルは価値がなくなるかもしれません

中小SIer勤務のBさん

- 市場拡大にともない労働市場は需要旺盛である。
- 要件定義フェーズに必要なビジネスの理解やコミュニケーション能力は重要なスキルとなっている。

SI業界の労働環境に関する課題

長時間労働

- エンジニアやプロジェクトマネージャーは、プロジェクトの締切や要件に対応するために長時間労働を強いられ、これにより過労や健康問題が発生する可能性がある。

人材不足と離職率

- SI業界は人材不足が深刻であり、特に優秀なエンジニアやプロジェクトマネージャーの確保が難しい状況。
- 競争力のある市場であるため、離職率が高くなっている。

ワーク・ライフ・バランス

- 長時間労働やプロジェクトの締切により、エンジニアやプロジェクトマネージャーのワーク・ライフ・バランスが損なわれることがある。

スキルのアップデートと教育支援

- 技術の進歩が速いSI業界では、エンジニアやプロジェクトマネージャーが最新のスキルを習得し続ける必要がある。

- 「開発工数の見積もりが難しく、想定以上に時間がかかる」「仕様変更に対応しなければいけない」など業界特有の事情により、長時間勤務になりがちな労働環境にある。

4. 今後の焦点

業種別アプローチ

医療介護業界

- 電子健康記録（EHR）システムの導入
- 医療機器の統合
- ワークフロー最適化
- セキュリティとプライバシーの強化
- テレヘルスと遠隔モニタリング



陸上運送業界

- 輸送管理システムの導入
- 車両トラッキングシステムの構築
- ルート最適化システムの開発
- 在庫管理システムの改善
- データ分析と予測モデルの構築



建設業界

- 建設プロジェクト管理システムの導入
- 3Dモデリングとビジュアライゼーションの開発
- センサー技術とIoTの活用
- ビッグデータ分析と予測モデルの構築
- モバイルアプリケーションの開発



- 各業界のビジネスモデルやDXへの取組み状況など、顧客のビジネスを深く理解することが、競合他社との差別化につながる。

4. 今後の焦点

競争優位を確保するポイント

要件定義



- ビジネス理解力と業界知識
- コミュニケーションと要件抽出能力
- クリエイティブな問題解決と提案力

設計～導入



- 技術力と革新性
- カスタマイズと柔軟性
- 品質保証とテスト戦略
- プロジェクト管理とリーダーシップ

トレーニング～メンテナンス



- ユーザートレーニングと変更管理
- 継続的なサポート体制の提供
- コミュニティやナレッジベースの提供
- プロアクティブなメンテナンス

最近、各フェーズで
スピードが重視されます



中小SIer勤務のAさん

- 各フェーズに強みとなりうるポイントがあり、SIer各社の経営方針が反映される。

4. 今後の焦点

先進技術に対応する人材の確保と育成

フリーランスや外部パートナーとの連携

- プロジェクトの需要に応じてフリーランスや外部パートナーとの連携を活用することで、柔軟な人材配置やスキルの補完を図る

スキルアップ支援

- 社内教育プログラムや研修制度を充実させるなど、従業員のスキルアップを支援する取り組みを行う

外国人技術者の活用

- 外国人技術者は異なる経験や文化を持ち、SIプロジェクトにおいて新しい価値提供が期待できる

多様性とインクルージョンの推進

- 異なるバックグラウンドを持つ人材の活用や、多様な人材を受け入れる風土づくりを進める

中小SIerでは自社で人材を育成するのは大変なので、外部連携の方が効率的だと思います



中小SIer勤務のBさん

- 人材確保・育成には相当の時間的コストが必要であり、SIer各社の企業規模や経営方針により、人材戦略は異なる。

5. CCIのソリューション

コンサルティングメニュー

経営戦略 <ul style="list-style-type: none"> 経営理念・ビジョン策定 経営計画の策定 個別施策の立案 	コストマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 原価管理体制の構築 物件費削減に関する助言 アウトソーシングの受託 	人材紹介 <ul style="list-style-type: none"> 最適な人材マッチング 独自のネットワーク 人材定着サポート
ビジネスマッチング <ul style="list-style-type: none"> 新たな販売・仕入先の紹介 新商品・新技術開発パートナー紹介 グループ会社コレゾの活用 	人事制度・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の策定 賃金制度の設計 階層別・専門別研修の実施 	
ICT <ul style="list-style-type: none"> システム導入・更改のサポート 独自アプリによる生産性向上 社内コミュニケーションの活性化 	業務効率化 <ul style="list-style-type: none"> BPR企画・立案 クラウド会計を活用した事務効率化 各種業務のマニュアル化 	
海外展開 <ul style="list-style-type: none"> 海外販路の開拓 海外拠点の設立に関する支援 貿易手続に関する助言 	M & A・事業承継 <ul style="list-style-type: none"> 企業の売却・買収のコーディネート 企業価値算定に関する助言 経営の承継に向けた社内体制整備 	



- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- 北國フィナンシャルHD各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。

WEBサイト



[株式会社CCイノベーション \(ccinnovation.co.jp\)](http://ccinnovation.co.jp)

当社のコンサルティングについての詳細はこちら↑

LinkedIn



[株式会社CCイノベーション | LinkedIn](#)

コンサルティング事例やセミナー情報を発信中
ぜひフォローよろしくお願いいたします！

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。